

主催： 応用物理学会 日本光学会 微小光学研究グループ

第 9 9 回微小光学研究会

放送・映像・ディスプレイと微小光学

日時： 2006 年 3 月 14 日 (火) 10:00~17:00

会場： NHK放送技術研究所 講堂
東京都世田谷区砧 1-10-11
<http://www.nhk.or.jp/str1/aboutstr1/map.html>

交通： 小田急線 成城学園前駅から バス約 10 分
東急田園都市線 用賀駅から バス約 15 分
東急田園都市線 二子玉川駅から バス約 25~35 分
渋谷駅から バス約 40 分
(いずれもバス停：NHK技研前 下車)



プログラム

- 10:00~10:05 開会の挨拶
- 10:05~10:50 【基調講演】人の可能性に学ぶ放送・映像システムに向けて
榎並 和雅 (NHK技研所長)
- 10:50~11:20 視聴者参加型ムービーシアター (愛・地球博、三井・東芝館) 森島 繁生 (早稲田大)
- 11:20~11:50 3.6V型WXGA SED (表面伝導型電子放出素子ディスプレイ) 西村 孝司 (東芝)
- 11:50~13:00 <昼食休憩>
- 13:00~13:30 超高精細デジタルシネマの展望 青山 友紀 (東京大)
- 13:30~14:00 通信と映像配信の融合化への試み
—エレベータシャフト内への光ファイバ導入によるビルのIT化— 西澤 紘一 (能開大)
- 14:00~14:30 平面ディスプレイの現状と課題 小林 駿介 (山口東京理科大)
- 14:30~15:00 ディスプレイの新たな挑戦 佐藤 史郎 (NHK技研)
- 15:00~15:20 <休憩 20分>
- 15:20~15:50 「愛・地球博2005型スクリーン：GxLレーザープロジェクタ」について
江口 直哉 (ソニー)
- 15:50~16:20 新たな立体錯視に基づくDFD (Depth-fused 3-D) ディスプレイ 陶山 史朗 (NTT)
- 16:20~16:50 電子ペーパーの目指す紙とディスプレイの長所両立 面谷 信 (東海大)
- 16:50~17:00 閉会の挨拶

参加費： 一般 4,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む。当日ご持参ください)

参加申込： 不要 (直接会場にお越しください)

担当委員： 上西(NTT)、小椋(レーザーフロントテクノロジーズ)、伏見(ペンタックス)、小路(ユティナデバイス)、渡辺(NTT)

問合せ先： NTTマイクロシステムインテグレーション研究所 上西 祐司

Tel:046-240-2665 Fax:046-270-2323 E-mail:uenishi@aecl.ntt.co.jp

微小光学研究グループ：代表 伊賀健一； 運営委員長 後藤顕也； 実行委員長 中島啓幾； 副委員長 國分泰雄
プログラムは、微小光学研究グループのホームページ <http://www.din.or.jp/~microopt/> でもご覧になれます。